

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 3 区分
【発行日】 令和 7 年 7 月 2 日(2025.7.2)

【公開番号】 特開 2024-90071(P2024-90071A)
【公開日】 令和 6 年 7 月 4 日(2024.7.4)
【年通号数】 公開公報(特許)2024-124
【出願番号】 特願 2022-205720(P2022-205720)
【国際特許分類】

C 0 9 J 1 6 7 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)
C 0 8 L 1 0 1 / 1 6 (2 0 0 6 . 0 1)
B 3 2 B 2 7 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)
B 6 5 D 6 5 / 4 0 (2 0 0 6 . 0 1)
C 0 9 J 7 / 3 0 (2 0 1 8 . 0 1)

10

【F I】

C 0 9 J 1 6 7 / 0 0
C 0 8 L 1 0 1 / 1 6
B 3 2 B 2 7 / 0 0 D
B 6 5 D 6 5 / 4 0 D
C 0 9 J 7 / 3 0

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 7 年 6 月 2 4 日(2025.6.24)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

30

生分解性ポリエステル系樹脂 (A) 100 質量部を基準に、ポリオール (B) を 3 ～ 24 質量部、及び、スターチ又は変性スターチ (C) を 0 ～ 40 質量部含み、ポリオール (B) とスターチ又は変性スターチ (C) との合計量は 44 質量部以下であり、生分解性ポリエステル (A) は、ISO 527-1 に準拠して測定された破断伸びが 50 % 以上であり、ポリオール (B) のガラス転移温度は -10 °C 以上である、接着性樹脂組成物。

【請求項 2】

生分解性ポリエステル系樹脂 (A) の融点は、70 °C 以上である、請求項 1 に記載の接着性樹脂組成物。

【請求項 3】

生分解性ポリエステル系樹脂 (A) は、芳香族-脂肪族共重合ポリエステル系樹脂を含む、請求項 1 に記載の接着性樹脂組成物。

40

【請求項 4】

前記芳香族-脂肪族共重合ポリエステル系樹脂は、ポリブチレンアジペートテレフタレートである、請求項 3 に記載の接着性樹脂組成物。

【請求項 5】

ポリオール (B) は、マルチトール、ソルビトール、及びトレハロースからなる群から選択される少なくとも 1 つである、請求項 1 に記載の接着性樹脂組成物。

【請求項 6】

スターチ又は変性スターチ (C) を含まない、請求項 1 に記載の接着性樹脂組成物。

【請求項 7】

50

請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の接着性樹脂組成物を含んでなる接着層を含む、積層体。

【請求項 8】

生分解性樹脂層、前記接着層、及びポリビニルアルコール系樹脂層をこの順に含む、請求項 7 に記載の積層体。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の接着性樹脂組成物を含んでなる接着層を含む、食品包装材。

【請求項 10】

請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の接着性樹脂組成物を含んでなる接着層を含む、コーヒーカプセル。

10

20

30

40

50